

第12回（令和3年度）通常総会 議事録

日時：令和3年（2021）年7月2日（金） 16：00～17：30

場所：株式会社パスコ衛星事業部

東京都目黒区青葉台 4-9-6、2F 会議室

配布資料：第12回（令和3年度）通常総会議事次第（議案書）

出席者：

役員：岩崎会長、高橋監事

幹事会社：国際航業株式会社（新井）、富士通株式会社（井上）、宇宙技術開発株式会社（伊東）、ESRI ジャパン株式会社（下田）、一般財団法人リモート・センシング技術センター（向井田）、Harris Geospatial 株式会社（大川）

正会員：1)アジア航測株式会社（委任状）、2)宇宙技術開発株式会社（伊東）、3)ESRI ジャパン株式会社（下田）、4)国際航業株式会社（新井）、5)株式会社サテライト・ビジネス・ネットワーク（オンライン参加）、6)JX金属探開株式会社（オンライン参加）、7)ジオテクノス株式会社（委任状）、8)スカパーJSAT株式会社（オンライン参加）、9)株式会社地圏環境テクノロジー（オンライン参加）、10)日本電気株式会社（オンライン参加）、11)日本マイクロソフト株式会社（眞島、1名オンライン参加）、12)株式会社パスコ（奥泉、宮川）、13)Harris Geospatial 株式会社（大川）、14)株式会社ビジョンテック（オンライン参加）、15)富士通株式会社（井上）、16)三井物産セキュアディレクション株式会社（高橋）、17)一般財団法人リモート・センシング技術センター（向井田）、（五十音順、会員17社中15社）

事務局：株式会社パスコ（奥泉、宮川）

議事

1. 総会成立確認

新井幹事により、正会員数17社のうち出席は15社であったが、正会員の過半数の出席があり、2社からは委任状が送付され、通常総会として成立したことが宣言された。

2. 議長選出

コミュニティ規約第11条の規定により、岩崎会長が議長として選出された。

3. 議案審議

3-1. 【第1号議案】令和2年度活動報告

新井幹事から、議案書に基づき説明された。

議案どおりに承認された。

3-2. 【第2号議案】令和2年度会計報告

事務局から令和元年度の会計報告があった。

これに対し以下の質問があった。

(1)予算にある会議室運営費とは何か。

これに対し新井幹事から会議運営費とは会議室のレンタル料などと言うとの回答があった。他に異論はなく、第2号議案は承認された。

3-3. 【第3号議案】監査報告

高橋監事から、令和2年度のコミュニティの活動と会計報告について正当であることが報告された。

議案通りに承認された。

3-4. 【第4号議案】会員増減報告

事務局から、令和3年5月末日（令和3年度期首）時点の正会員は1団体（日本マイクロソフト株式会社殿）が増えて17団体で、オブザーバ会員が1団体であることが報告された。

3-5. 【第5号議案】規約改定

井上幹事より事務局がジオテクノス株式会社より、株式会社パスコに変更になった事が述べられた。

これに対し下記の質問があった。

(1)規約に記載されている青葉台の住所の事務所はパスコの本社ではないのか。事業部は登記されているのか。

これに対して事務局から即答できないので確認するとの回答があった。

他に異論はなく、第5号議案は承認された。

3-6. 【第6号議案】幹事等選出

議案書の幹事等選出について下田幹事から説明があった。

幹事6社中4社が任期満了となり、幹事会社の自薦他薦の案内を送付した結果、以下の6社を候補としたいとの説明をされた。

- 1)国際航業株式会社
- 2)一般財団法人リモート・センシング技術センター
- 3)宇宙技術開発株式会社
- 4)富士通株式会社
- 5)ESRIジャパン株式会社
- 6)Harris Geospatial 株式会社

上記の議案どおり承認された。

3-7. 【第7号議案】令和3年度活動計画

議案書に則り、伊東幹事から説明があった。

これに対し、以下の質問と意見があった。

- (1)どのように投稿すれば良いか。
- (2)会員へのサービスとビジビリティーは重要。

これに対し井上幹事からの回答は以下のとおりである。

宇宙カタログは BizEarth の WEB ページから閲覧可能である。関係省庁の参考となるように利用して頂きたい。宇宙カタログの会員企業の活用を望む。

他に異論はなく、議案どおり、令和3年度活動計画は承認された。

3-8. 【第8号議案】令和3年度予算

事務局から議案書通りの説明があり、議案書通りに承認された。

4. その他

「本年度の BizEarth の活動についての意見交換」

岩崎議長より本年度の活動につき意見を頂きたいとの問いかけがあり以下の様な意見が述べられた。

- (1) コロナで活動が制約された。コロナが収まってもオンライン対応を続けていきたい。

これに対し岩崎議長からは以下の様な回答があった。

オンライン会議は地方等どこにいても参加できる長所がある。講師にも謝金は払うが交通費は掛からない。短所はオンラインでは質問をしたくない傾向にある。学生などは他の学生がどこまで理解しているか分からないのが短所と言える。

さらにオンラインに関して以下の様な意見と要望があった。

- (2) オンラインは増えている。オンライン参加者は質問しづらい傾向にあるので、いっそのこと参加者すべてをオンライン実施するのも有りでは無いか。

- (3) 当社でもオンライン WEBINAR を実施するが個々の案件について意見交換はできない短所はあるが、アンケートの回収率は上がるところが長所である。

- (4) オンライン原理主義者では無いが、チャットか匿名の質問が出来るところは良い。録画機能もある。若い世代は対面をむしろ恐れる傾向にある。

- (5) 勉強会もオンラインでやってほしい。

上記に関して岩崎議長からは幹事会社のオンラインをもっと利用していくとのご意見を述べられた。

さらに以下の様な意見も述べられた。

- (6) 内閣府宇宙開発戦略推進事務局、経済産業省宇宙室等との意見交換の場を増やす。

- (7) ALOS-3 にフォーカスするのは如何か。

上記に対して、下記の意見が述べられた。

ALOS-3の勉強会は大盛況だった。一方、国内ではアプリよりになると情報を出したくない企業が多い。コンサルの立場から海外情報の勉強会をしてほしい。

また、岩崎議長は以下の様な状況を説明された

タスクフォース、日本のリモセン衛星の計画が最近弱くなっている。ALOS-3が上がる事により、ALOS-5、6がどうなるのか議論が必要。アクセルスペース以外は日本での光学衛星の計画が無い。業界と学術団体がうまく活動すべきであり、また、宣伝等も欧州のコミュニティの様に強力に進めたい。

最後に岩崎議長より本議論を以下の様に纏められた。

オンラインは非常に良いのでこれからも続けていきたい。ひとつの話題では無く、多くに繋がる話題にしたい。

以上をもって第12回通常総会は終了した。

以上

本文書を、地球観測データ利用ビジネスコミュニティ第12回（令和3年度）通常総会の議事録と認める。

令和3年 7月 20日

岩崎 晃



議長 岩崎 晃